すみだ新製品開発プロジェクト実行委員会

【平成２０年度に実施する取組】

平成２０年度の取組におけるスケジュール

モビリティ製品化研究会

８月

“ALL 墨田”の開発体制の構築
区内企業間の調整。

エコ･モビリティの仕様確定
車両性能（採用する駆動源、目標とする走行距離、速度、乗車定員等）を決定。

９月

エコ･モビリティの設計
担当企業がエコ･モビリティの車体や構成部品等の設計を行う。駆動システムのノウハウは早稲田大学が提供する。①二次電池駆動、②軽量車体、③低コストでの製作を考慮する。

１０月

エコ･モビリティの試作･性能試験
上記に基づき、エコ･モビリティ（1号機）を試作し、性能試験を実施する。

“ALL 墨田”による エコ･モビリティ（1 号機）完成

１１月

実証試験
対外的な PR も含めた実証試験（新タワー周辺地域を想定）を実施。エコ･モビリティの完成披露を含む。

１２月

ビジネスモデル構築研究会

関係法令の整理と構想の具体化
･道交法等の関係法令の整理
･構想の具体化および関係者への呼びかけ（カーシェアリング事業者、公共交通、観光関連事業者等）

先進事例の調査および関係者へのインタビュー調査
ビジネスモデルの具体化を検討するにあたり、他地域における先進事例を調査するとともに、カーシェアリング、公共交通、観光関連企業の関係者を対象としたインタビュー調査および意見交換を行う。

ビジネスモデルの具体化と事業性評価に関する検討
上記調査結果に基づき、想定されるビジネスモデルを具体化する。複数のケースを想定し、その事業性や実現可能性に関する考察を行う。

共通

１月

産学官連携イベントにおける成果の一般公開（2009 年 1 月 24 日：予定）
･エコ･モビリティの試乗会の開催と一般市民向けアンケートの実施（愛称の公募も含む）。
･パネル、展示等による検討成果の公開

２月

エコ･モビリティの改良設計
実証試験の結果を踏まえた改良設計を行うとともに、量産型の仕様を確定する。

事業化に向けた検討
エコ･モビリティの製造のみならず運用管理、メンテナンス等の事業化に向けた検討を行う。

モデル事業の企画
翌年度に展開するモデル事業（限定的なエリアでの試験運用）の企画案を作成する。関係者との調整や実施の規模、拠点整備の必要性について整理する。

３月

成果のとりまとめおよび次年度計画の策定
検討の成果を取りまとめるとともに次年度計画（モデル事業の展開）に関する整理を行う。